

施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7824 (商工経済室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施 策	1	都市産業

1. 施策の基本方針 Plan

- ・魅力ある商業空間の整備や地域の特性を生かした中心市街地の活性化を推進します。
- ・商業、サービス業の振興や新たな産業の展開を促進するとともに、若年者が身近で働くことのできる自立したまちづくりを目指します。
- ・新たな産業の創出支援や育成など市内都市産業の活性化を進めます。
- ・地域づくりと連携するコミュニティビジネスを支援します。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・国や県の補助事業を活用し、事業者の魅力的な店舗づくりやまちづくりの取組を支援し、商店街の活性化を図ります。
- ・「とれたて名張交流館」を活用した地産地消の取組や地元産品の発信など、地域資源を活用することにより、産業の活性化を図ります。
- ・商工会議所等の関係機関と連携し、セミナーや相談会の開催を行うとともに、企業の商品開発や新規事業等に対する支援を行い、経営基盤の強化を図ります。
- ・新規事業者向けセミナーを開催するなど支援策を充実させることにより、創業機会の拡大を図ります。
- ・国や県の補助事業を活用し、地域づくり組織等が取り組むコミュニティビジネスの促進を図ります。

目標達成に向けた課題 Plan

- ・大型店の進出や消費者ニーズの多様化などの影響により、経営不振が続く商店街等の活性化に向けた具体的な支援を検討する必要があります。
- ・長引く不況や東日本大震災の影響により経営環境は依然厳しい状況が続いていることから、企業等の持ち味を生かした製品、技術、サービス等の開発を促進する必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・重点目標を達成するため、事務事業を見直す必要がある。

施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
市内総生産 (億円) (実績値は各年度とも前々年度値。 1:2006年度値、 2:2007年度値、 3:2008年度値、 4:2009年度値、 5:2010年度値) 毎年データの遡及改訂を行っており、既報の公表値とは異なります。	目標	-	-	-	-	2,500	2,550	
	成果	2,520	2,623	2,518	2,345	2,417		0%
年間商品販売額 (億円) (1:2007年度値)	目標	-	-	-	-	920	930	
	成果	919	919	919	919	919		0%
商工会議所の会員数 (社)	目標	-	-	-	-	1,180	1,200	
	成果	1,160	1,173	1,155	1,171	1,155		0%
年間製造品出荷額等 (億円) (実績値は各年度とも前年度値。 1:2007年度値、 2:2008年度値、 3:2009年度値、 4:2010年度値、 5:2011年度値)	目標	-	-	-	-	2,500	2,700	
	成果	2,498	2,481	1,951	2,102	1,954		0%
エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数 (店)	目標	-	-	-	-	60	65	
	成果	58	58	58	58	58		0%
買物や食事などの日常生活の利便性に満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	70.0	
	成果	-	-	62.4	68.3	65.6		H25取組分より評価対象

新規設定

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・商店街が地域と連携して実施した、集客のための事業に対して補助を行いました。
- ・商店街の販売促進のための事業に対して補助を行いました。
- ・商店街向けのセミナーを開催しました。
- ・企業の経営資金の借り入れのための資格認定や融資の保証料補助を行いました。
- ・海外への販路開拓についてのセミナーを開催しました。
- ・立地協定を締結した企業に対し、奨励金補助を行いました。

< 行政評価委員会からの意見に対する取組内容 >

- ・重点目標の達成に向けて、新規事業の創設など事務事業の見直しを行いました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・関係機関と連携し、地域経済の活性化等の役割を担う「とれたて名張交流館」を、8月にオープンしました。
- ・地域産業の活性化や地域づくりの推進を図るため、「名張市民産学官連携推進協議会」の関係機関と連携し、事業を推進しました。
- ・企業と教育機関との共同研究に対する支援を行いました。
- ・商工会議所青年部と連携し、若者後継者育成事業を行いました。
- ・地域振興、産業活性化を目指し開催された「名張・産業まちづくりフェア」に対する支援を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 10 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
1094	バイオマスタウン構想推進事業	産業政策室	2,011	1,530	A	検討している、今後可能性がある	継続(改善)	B	B
1210	地場産業振興事業	商工経済室	0	4,536	A	実践している	継続(改善)	B	A
1226	地場産商品開発・流通促進事業 (緊急雇用創出事業)	商工経済室	0	2,800	B	実践している	H25完了予定	B	B
3056	企業立地推進事業	商工経済室	137,843	51,493	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3057	商工会議所業務補助金	商工経済室	3,989	3,989	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3058	商工業振興事業補助金	商工経済室	217	1,731	B	該当しない	継続(現行)	B	A
3059	小規模事業資金保証料補給補助金	商工経済室	1,793	880	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3060	中小企業退職金共済掛金補助金	商工経済室	304	315	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5018	リバーナホール管理運営事業	商工経済室	4,166	4,165	B	該当しない	継続(現行)	B	C
6083	商工総務一般経費	商工経済室	3,469	6,259	B	該当しない	継続(現行)	B	C
合計(単位：千円)			153,792	77,698					
小計(うち、一般会計分)			153,792	77,698					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や商工会議所への補助金や事業者への融資の保証料補助および企業への立地奨励補助など、既存の制度を活用した各種支援を行いました。また、新たに、事業活性化のためのセミナーや海外販路開拓のためのセミナーを開催するとともに、共同研究、名張・産業まちづくりフェアに対する支援を行うことで、地域産業の活性化を図りました。これらの取組みにより、市内総生産については若干の持ち直しの傾向が伺えます。 ・一人当たり市民所得については、平成22年度三重県調査により県下6位の水準に位置しており、経済面での地力が向上してきていることも伺えます。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

- ・「名張市先端産業立地促進条例」に基づき、高付加価値・低輸送コスト製品の開発・製造を行う企業に対する支援を行います。
- ・企業訪問により情報収集を行い、近大高専と市内企業等の共同研究の促進や事業者向けセミナーの開催等、各種支援策に活用します。
- ・「とれたて名張交流館」を有効活用し、地域産業の活性化を図ります。
- ・関係機関や地域と連携し、商業者や企業に向けた事業活性化に役立つセミナーの開催や新規事業等に対する支援を行うとともに、商店街の活性化による地域づくりやコミュニティビジネスへの支援を行います。
- ・民産学官連携を促進するため、企業と教育機関との共同研究等に対する支援を行います。

7. 総合評価

評価

C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

評価理由及びその他（意見）

- ・地域づくり組織と一体的に産業振興に取り組む体制や仕組みを整備する必要がある。
- ・地域産業活性のための情報発信や地域ブランド開発に「とれたて交流館」の有効活用を促進すべきである。